

2年学年だより

小松市立安宅中学校
No. 9 2021. 6. 22

弁護士によるいじめ予防教育

6月17日(木)金沢弁護士会より弁護士の北村勇樹さんをお迎えして、いじめ予防教育を行いました。北村さんは、ご自分の弁護士としての経験を踏まえて、事例を出しながらいじめについていくつかの視点からお話してくださいました。

複雑化した社会の中で生きる私たち誰にも起こりえる例として、SNSやメディアとの付き合い方についての話を聞き、改めて考えさせられました。

皆さんの感想を紹介します。

目の前の噂話を簡単に信じたりしないで、少し疑ったり深く考えたりしようと思った。ものの見方によってよくも悪くも広まってしまうのは怖いです。

いじめはどんなことがあっても自分はしないと思うけど、いじめられている人がいたら影からでも支えてあげられれば良いなと思った。

北村先生の話聞いて、いじめはとても危険だとわかった。ネット上でも悪口を書くとばれると知り、警察の力は凄いと思った。自分もこれからネットなどを使うときは、悪口を書かず、いじめの加害者にならないようにしようと思った。

いじめでその人を死んだことにするとやった人も、すごく怖い考えを持っているなと思った。されたらどう思うかなと考えられない人にはなりたくないなと思った。

いじめのことについて改めて考えさせられた話でした。SNSで匿名だからといっていろんなことを書いてもばれてしまったり、人によって見方が違うのがわかりました。今までよりもっといじめについて見直していきいじめをやらないようにしたいです。

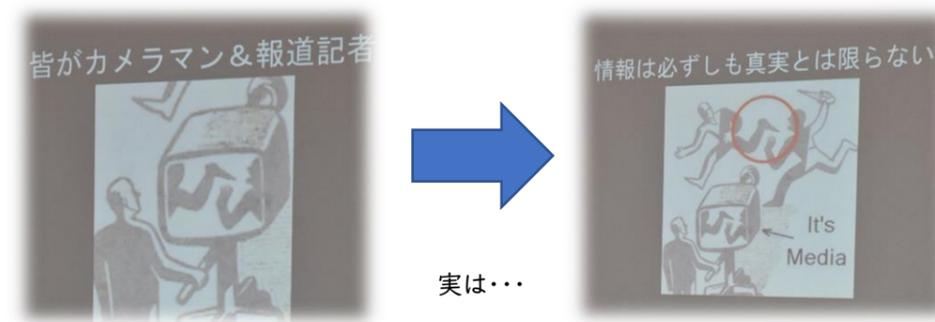
昔は暴力が多かったけど、今はネットで悪口を書く人が多くなってきていると分かりました。ネットだと、いろんなところにどんどん広がっていくので、大変だと思いました。いじめた人も相手のことを考えていたらいじめは起きないと思いました。いじめがなくなってほしいです。



葬式事件のことを聞いた時、びっくりした。本当にそういうことがあるんだと思った。そして真実は一つじゃないから、一つのことだけを信じずに、他の意見もしっかり聞きたい。コップの水があふれないように、友だちの話などを聞いてあげて、水があふれないようにしたい。いじめがゼロになるのは、難しいけど、できるだけ減らしてみんなが楽しく過ごせるようにしたい。



改めていじめは絶対にあってはいけないな、と思いました。いじめによって身体や心に傷ができ、命を落とす場合もあるのが本当に怖いし、もしいじめを見つけたら「やめて」って言えるような存在になりたいと思いました。誰もが使う SNS だからこそ、使い方にも注意していきたいです。学んだことをこれからも大事にしていきたいです。



頑張り度チェック

今年度から毎月自分の頑張り度チェックアンケートを行っています。毎月、自分の生活や学習を振り返り、翌月に向けての目標を立てるものです。学年学級ごとに集計したグラフがみなさんのコメントと共に廊下に掲示されていますね。

2年生は4月、5月と**登校時間、無言清掃、あいさつ**などで**頑張りが見られます**。そして、今後の課題となっているのが、**提出物や三点固定**です。三点固定は生活のリズムを整え、何事にも力を発揮するための基本となります。ぜひ意識して改善していきたいですね。また、6月30日、7月1日には期末テストがあります。各教科では計画的に、単元テスト、単語テスト、漢字テストなどが行われています。その際には課題の提出もあります。家庭での学習習慣を定着させ、課題の取り組み方を見直し、期限を守って提出できるように頑張りましょう!